

～1966(S41)年3月～

支 部 だ よ り

東海支部だより

一年に一回は、総会を開催することになっていると云い乍ら、その時が来ないと仲々腰のあがらないもの、身近かの方々とは夫々に集い盃を重ねておられる向も、いざ一諸に一堂にともなればいろいろの都合も出来て集りは余り香しくない。

昭和40年も秋に入つて早急に総会開催の話が持ちあがり9月24日夕刻に名古屋駅前の松岡旅館にて役員会を開催、12名の出席役員にて、秋の支部総会開催を決定し、支部地区所在の会員530余名に通知を発送。

10月17日に名古屋の翠芳園にて昭和40年の支部総会を開催しました。

本年は、支部役員の改選期でもあり、又昭和41年の春には本部の総会を東海地区にて引き受けるとの事で、支部長より会務一般の報告があり、議案も順調に諒承、各科別に運営委員を設けて、下記の方々に夫々役員を願うこととしました。

当日は、本部より沢崎先生、馬田事務長を迎へ、加えて若杉旧師、近藤旧師が特別参加していただき、他に同窓55名は、聊か心さびしき感もありましたが、若杉先生から「おばは何処行きやがる」の三国節にもじつて、「おじじ何処行きやがる」の出だしでの挨拶に夫々の御来賓の挨拶の後懇親会に移り、特に名古屋名物の楽団芸妓の鳴り物入りで得意ののども聞き得て大変なごやかに終りました。宴会時の写真は、教育上支障のある向もあり一応品行方正姿をお目にかけました。

御参加の方は今一度思い出していただき、不参加の方は夫々適当に御想像の程を。

東海支部役員（昭40.11.17改選）

支 部 長 増谷 忠男（2紡）

副支部長	横山 栄一（4機）	池田 文夫（5紡）
	石田錠太郎（5建）	
委 員		
(建)	平松 文雄(5)	永井 豊(6)
	岡田 勉(6)	小方 利雄(8)
	井戸田善聖(12)	野田 豪一(22)
	多田 正一(29)	
(紡)	湯口 寛秀(5)	二村 喜八(5)
	内田 芳男(6)	横江 錠一(8)
	喜田 竜夫(11)	山本 政男(11)
(染)	近瀬 正身(8)	伊藤 博(9)
(機)	中尾 敏夫(5)	宮城 武(5)
	津田泰太郎(8)	近藤 秀一(8)
	北村 忠(9)	近藤 宜(9)
	手嶋 楢(11)	香取 博(12)
	須賀原幸夫(10)	小原 茂信(10)
	長倉 英五(17)	寺田孝一郎(17)
	峰須賀俊雄(18)	
(電)	後藤 尚玄(16)	神戸 勇(17)
監 事	越野 実（8紡）	滝川万里夫（9機）
	安田 貞一（14建）	

お 願 い

昭和41年の本部定期総会を別掲の通り東海地区において引き受けことになりました。

東海地区在住の方には、改めて御案内申し上げますが他地区の方および本年めでたく卒業の上東海地区に就職せられる方は、是非共多数御出席賜わりたく、趣向をこらして、お待ち致しています。

東海支部長 増谷 忠男
役員一同
外

